



# 学校だより

## 抱負 —学芸会の感謝を込めて—

西沢 盛和

11月17日、小笠原小中学校開校50周年記念式典において、新妻中学校長が次のようなことを小中学生に向けて話をされました。

「貴重な世界自然遺産としての価値と心豊かな島民生活を共存させ、持続可能な社会にしていくことが、現在小笠原に暮らしている者、とりわけ今日参加している児童・生徒のみなさんにとっては大きな課題です。考えてみてください。あと50年経つと、児童・生徒の皆さんは私と同じぐらいの年齢になります。皆さんの中から将来の小笠原村村長や村議会の議員になる人が出てくるかもしれません。また、いろいろな分野でこの小笠原を支える人材に必ずなっていくと思います。今日の式典は単なる式典ではなく、小笠原を支える人材に成長していくぞと決意をする式典です。そうでなければ意味がありません。今日の式典に参加した児童・生徒合わせて221名のみなさんには、この式典と今日という日をしっかりと記憶にとどめていただきたいのです。そして、50年後をめざして日々、しっかり勉強していきましょう。」

この「式典の意義」を子供たちにはよく噛み締めてもらいたいものです。それと同時に私たち教員は「式典の意義」を具現化する教育活動を保障することの責任の重みを感じています。

12月1・2日、小学校は学芸会を開催しました。6年生の演じた『モモ』のメッセージ「今この一瞬を大切にしよう」は心に残ります。きびしい管理、規律から子供たちの夢や個性を取り戻した『エルコス』のメッセージも忘れられません。50年後、大人になって仕事に就く時、島を出る時、その時のことだけを考えると今を犠牲にする灰色の男たちやユートピア学園的な成功志向でなく、毎日を楽しく、そして今できることを精一杯やるという『モモ』や『エルコス』の考え方・生き方が小笠原の子供たちには大事だと私は思います。それが50年後を目指して日々しっかり勉強することだと思ふのです。

学芸会には多くの皆さんにお越しいただき、子供たちへ温かな声援や盛大な拍手をいただきました。心から感謝申し上げます。地域・保護者の皆さんのいつも変わらぬ温かな応援が、「今この一瞬を大切にしよう」という子供たちを豊かに育てていることを強く実感しています。それが学芸会で輝き、学芸会を成功させる子供たちの姿になっているように思います。その子供たちの気持ちを更に日々の勉強にどうつなげていくか、それが私たち小学校の大きな課題であり、新年への抱負でもあります。

12月の行事予定			16	日	こども餅つき大会
1	土	学芸会 児童鑑賞日 (5時間授業)	17	月	全校朝会
2	日	学芸会 保護者鑑賞日 (午前授業)	18	火	仲良しお弁当会 5時間授業 ヨーグルト
3	月	振替休業日	19	水	音楽集会
4	火	振替休業日	20	木	
5	水	全校朝会・誕生日集会 安全指導 地域清掃⑤ ハンカチチェック ヨーグルト飲料	21	金	大掃除⑤ 弁当終 SC
6	木		22	土	
7	金	避難訓練(予告なし) 委員会活動 SC	23	日	天皇誕生日
8	土		24	月	振替休業日
9	日		25	火	終業式
10	月	全校朝会 保護者会 (低14:00~高15:00~) マナー週間始	26	水	冬季休業日始
11	火		27	木	
12	水	ゲーム集会 芝スポの日 ヨーグルト	28	金	
13	木		29	土	
14	金	クラブ活動 SC	30	日	
15	土		31	月	

3学期 始業式1月8日(火)

## <生活目標>

担当 岡崎 友美

### ○「進んで仕事をしよう」

学校内にはたくさんの仕事があります。日直の仕事、学級の係の仕事、委員会などの学校にかかわる仕事・・・それらの仕事は与えられたことをするだけではなく、自分から仕事を見つけていくこともあります。各自がそれぞれ意識をもって取り組むことを期待しています。

2学期残りわずかとなりました。進んで学校内の整理をしていきましょう。

## <安全指導>

担当 松丸 弘樹

### ○冬休みを安全に楽しく過ごそう

冬休みになると、これまでの学校生活と違い、自由な時間がたくさんできて、行動範囲が広がります。公共の場所での遊び方やふるまいなど、適切に行動できるように過ごしてもらいたいです。

また、交通規則を守ることもとても大切なことです。自転車の利用については特に注意をしてください。夕方から自転車のライトをつけるなど、事故に遭わないよう気を付けてほしいです。

## 冬休みに向けて

「交通安全に気を付けて、安全な生活をしよう」

生活指導主幹 渡邊 義男

### 【生活について】

ご家庭で話し合っって計画を立て、規則正しい生活を送れるようご配慮ください。

### 【学習について】

2学期に習ったことが自分で解けるかの確認や、苦手なところの復習をすることが学力の定着につながります。問題演習を行いましょ。また、書き初め大会に向けての練習を進めましょ。

### 【事故防止・安全について】

多くの観光客が来島する冬。見知らぬ人の自動車に乗ったり、見知らぬ人から物をもらったりすることのないようにしてください。交通規則を守らせ、事故に遭わないよう、ご家庭でも十分ご留意ください。特に、自転車の利用については、十分な注意を払ってください。

さらに詳しい内容については、保護者会資料として配布いたしますので、ご一読ください。

## 総合的な学習の時間

担当 清水 智

小笠原小学校は、**平成30年度 持続可能な社会づくりに向けた教育推進校**(東京都教育委員会)に指定されています。今年度は授業だけではなく、**校内研修の充実**を図り、第50回全国小中学校環境教育研究大会での**誌上発表**(下図中央)も実施しています。また、12月18日(火)には一般の方向けの講演会を通して、持続可能な社会づくりに向けた教育を推進しました。(下図右)

3年生	南洋踊り
	小笠原の生き物 (昆虫やオガサワラオオコウモリ)
4年生	小笠原の太鼓
	父島安全マップ 小笠原の植物
5年生	小港キャンプ
	アオウミガメの学習
6年生	アホウドリの学習
	タコの葉細工
	母島移動教室 世界遺産学習

各都道府県教育委員会教育長等  
各都道府県教育委員会教育長等  
各都道府県教育委員会教育長等  
各都道府県教育委員会教育長等

全国小中学校環境教育研究会 会長 野澤 由美  
東京都小中学校環境教育研究会 会長 橋本 浩史

第50回 全国小中学校環境教育研究大会(東京大会)  
第54回 東京都小中学校環境教育研究発表会

【第二次案内】  
21世紀「環境の世紀」の提言  
(研究主題)  
持続可能な社会づくりのための  
環境教育の推進  
～環境教育によって育む学力と環境保全意欲～

秋頃の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
さて、全国小中学校環境教育研究会では、提言の大会を開催いたします。つきましては、全国  
各地の小中学校、教育関係者をはじめ、多くの皆様のご参加をいただき、環境教育及びESD  
のさらなる充実と発展を図るべく、ここにご案内申し上げます。

日時 平成30年11月30日(金) 10時00分～16時30分  
会場 東京都 府中市立武蔵台小学校 (校長 野澤 由美)  
〒113-0042 東京都府中市武蔵台2丁目2  
TEL 042-322-0618 FAX 042-326-2880  
http://www.fuchu113.fuchu-tokyo.ed.jp

全国小中学校環境教育研究会ホームページ http://kankyokyoiku.jp/

平成30年度東京都持続可能な社会づくりに向けた教育推進校指定校専攻

環境教育セミナー  
～自然体験活動の視点から～

12月18日(火)

▶会場 小笠原世界遺産センター 多目的室  
▶時間 開場 18:30 開始 19:00  
終了 20:30  
▶参加料 無料  
▶申し込み 会場に直接お越しください。  
▶主催 小笠原小学校

<内容>  
●自然体験活動の実践例(CSRとして)  
●自然体験活動とSDGs・ESDの関連  
●情報交換・質疑応答

講師 増田 直広 氏

小笠原世界遺産センター 小笠原世界遺産センター 専攻主任  
小笠原世界遺産センター 小笠原世界遺産センター 専攻主任  
小笠原世界遺産センター 小笠原世界遺産センター 専攻主任

環境教育推進校指定校専攻 小笠原世界遺産センター 専攻主任  
環境教育推進校指定校専攻 小笠原世界遺産センター 専攻主任  
環境教育推進校指定校専攻 小笠原世界遺産センター 専攻主任

TEL 042-322-0618 FAX 042-326-2880  
http://www.fuchu113.fuchu-tokyo.ed.jp

#### 4. 小笠原村を背負っていく人材育成の実践 ～私たちの世界自然遺産小笠原諸島父島～

東京都 小笠原村立小笠原小学校 校長/西澤 盛和 主幹教諭/清水 智

